

技術分野	<p style="text-align: center;">金属酸化物材料</p>
担当者	<p style="text-align: center;">機能性酸化物研究室 学術参与 林 直顕</p>
業務内容・主要設備	<p>メスバウア分光法による材料の依頼分析を受け付けております。</p> <p>メスバウア分光法は原子核へのγ (ガンマ)線の共鳴吸収現象を利用した分析手法で、容易に利用できる元素が鉄、スズ、ユーロピウム等に限定されているものの、物質中の対象元素の状態を知る非常に優れた方法です。</p> <p>一方で、放射線源を用いることやスペクトルの解釈等、測定手法としては難しい面もありますが、当所ではご依頼内容を事前に十分ご相談させて頂いた上で、最適な測定と適切なスペクトル解釈を行うと共に、レポートや論文作成まで支援致します。</p> <p>また、成果の公表等の義務はありません。ご依頼上の秘密を厳守致します。</p> <p>鉄、スズ、ユーロピウムの室温測定のほか、低温、高温、薄膜式料測定(CEMS)も可能です。また、通常の受託測定・分析のほか、特殊な環境下での測定法の開発や共同研究も行っています。</p> <p>測定・分析例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄酸化物磁石中の鉄の状態の分析、混入不純物の分析 ・スラグ中に含まれる鉄の状態に関する分析 ・新材料の鉄化合物中に含まれる鉄の状態や低温物性研究 ・二次電池の電極活物質に含まれる鉄の価数変化 ・田圃の土壌に含まれる鉄の状態分析 ・ガラス中の鉄イオンやスズイオンの価数とその存在比 ・顔料中の鉄の状態分析